

内部障害を
持っています



ハート・プラス
<http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/>
Copyright © 2007 normanet.ne.jp All rights reserved.

ハート・プラス通信

～内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考える～

2014年2月20日 No.26 <冬号>

【配信元】NPO 法人 ハート・プラスの会

【連絡先】事務局 E-mail: info@heartplus.org FAX 052-718-1581

【ホームページ】<http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/>

新しい年になり、みなさまお元気ででしょうか？

暦の上では立春も過ぎ、春を待ちわびる今日この頃です。

いつもハート・プラスの会にご協力、ご支援をいただきありがとうございます。

本年も、よろしくお願い申し上げます。



障害者週間

「連続セミナー」報告

平成25年12月5日

内閣府主催による障害者週間「連続セミナー」が、東京青山にある「こどもの城」で13時より開催されました。当会としては、「内部障害者への理解をく目に見えない障害をもって生活するということ」をテーマにした講演会形式のセミナーに、48名の方の参加を頂きました。

白井代表理事の挨拶、司会者から、内部障害者の実情や当会の活動の説明の後、長崎県立大 学栄養看護学部准教授の吉田恵理子先生の講演が始まりました。

吉田先生の講演内容は、内部障害者の日常生活を把握するためにアンケートで質問と自由記入欄の32項目の内容で実施し、270件の回答が寄せられたとのことでした。それらを整理・分析された内容のポイントについて講演して頂きました。



【セミナー風景】

一番右が「講演者」です
一番左が「リアルタイム映像表示」

その隣が手話通訳、
説明用映像表示。

まわりの方へ配慮された感じで、ゆつくりと非常に聞き取りやすく話されていました。また、「周りの方にも理解してもらおう為」にそれぞれがそれぞれの立場で、取組む事の重要性も提言されました。

お手伝いいただいた研究室の学生さんが「整理中、内容を読んでいると涙が出て、つらい思いがすぐく伝わってきた」とのコメントが印象的でした。

講演終了後、会場からは3件の質問があり、丁寧に回答をされていきました。

昨年11月に「省庁への要望書」を提出した時に対応頂いた担当の方も聴講にいられていました。

アンケートにも多くの方からメールや郵便等で回答を頂き、あらためて皆様の協力に感謝します。ありがとうございました。



【講演中の吉田先生】

出席者の感想

〔北海道 畑さん〕

12月5日の障害者週間「連続セミナー」に参加しました。その日は天気がよく暖かく、会場となった渋谷駅近くの《こどもの城》は、交通の便がいいところでした。

久しぶりに会う方はとても懐かしく思い、初めて会う方とは挨拶をして席に着きました。

長崎県立大学吉田恵理子准教授のハート・プラスの会で行った、アンケートの結果の発表を聞いて、内部障害者は外見から見てもわからない、理解がされない、優先席に座れないなど、とても苦労していることが分かりました。



【セミナー後の記念撮影】

質問のコーナーでは、オストメイトの方の「アンケートを取って終わりではないけない！」という意見に、自分も同感しました。『この後、どうするか?』だと思えます。

今後、《内部障害者・疾患者》への理解、ハート・プラスマークの普及を目指して、活動をしていかなければならないと思いました。

セミナーの後、何人かの会員の方と1階のレストランでお茶をして、各自帰途に着きました。このセミナーに参加してとても良かったです。また、何か行事があったら参加したいです。

京都交流会報告

平成25年10月14日
〔京都 長尾さん〕

10月14日 京都市内のハートピア京都で3回目の交流会を開催しました。障がい者と健常者の方、14名参加して下さいました。前半は会の設立から現在各地での状況を鈴木さん

にお話して頂き、後半は、全員発言で交流を深めました。次回は、平成26年9月に開催予定です。



【勉強会風景】

鈴木さんの話に皆さん真剣に聞いています。

出席者の感想

〔京都 山口さん〕

最初に鈴木さんが、ハート・プラス・マークが張ってある、駐車場・バス・電車のスライドをしながら解説をして頂き、皆さん大変御苦労をされながら、普及活動をされている事が良く分かり、理解する事が出来ました。

又、お忙しい中、伊丹市議会議員の山本さんが参加して下さいました。皆さんの市民相談の中で、ハート・プラスの事を知り今議

会で訴えて下さっています。誰もが「思いやりの気持ち」を持って、お互いに心豊かな生活が暮らせる社会にと!!

出席者の感想

〔京都 中澤さん〕

最初、「内部障害」て何だろうという思いで、深い意味も解ろうとしないままのポスター貼り参加であった。

そして、ポスターも自分で作り、こつこつとポスターをお願い出来る方を探し唯「知ってほしい」という一念で走り廻り取り組んでいるその人の姿を見て、スゴイパワーだ、何がそうさせるのだろうと思ったのです。

ポスターの威力はきつと花咲くと信じる友、そこに見えるであろう笑顔など



【全員での撮影】

幸いポスターも「事務局で作成」という内部の協力も得るといふ大進歩と安定、第一歩の努力と苦労が報われたのです。ヤッターおめでとう

健常者に解らない内部の苦しみ悩みをかかえておられる人々に厳しい課題は多いが行政も我々も理解協力しあつていく中で前進していくしかない。

そして優しく手をさしのべ声をかける勇気を持てればと思う。ささやかなこのグループの声が、いたるところ、あたたか一杯のハート・プラスマークとなつていくことを切望す。

中央区健康福祉祭り

2013
平成25年10月27日

〔東京 熊坂さん〕

今年台風の当たり年で天気心配をしていましたが、双子の台風の影響もなく少し肌寒いですが、よい天気朝を迎えられました。

普段元氣そうに見えても、台風やら季節の変わり目で体調不

良の方が多く、参加者は5人でした。

この『中央区健康福祉祭り』は今年で8年目ですが、毎年お客さんが増えてとても大きなイベントになりました。

今年のハート・プラスの会のブースは、チラシの展示・配布・グループミーティングなどを行いました。地元中央区からいらつしやつた、お客様とみんなで輪を囲み一時間近くもお話ができ有意義な時間をすごすことができました。

毎年参加するたびにハート・プラスマークの認知度が増していることが実感できます。

イベント終了後には、会場の駐車場に新しくできたハート・プラスの看板を確認して無事終了いたしました。

中央区の皆様にはイベントでの啓発活動とおいしいお弁当をいつも感謝しています。



【交流風景】

寝屋川ふれあいフェスタ

平成25年11月9日

〔理事 徳永〕

2013年11月9日に大阪府寝屋川市で「ふれあいフェスタ」が開催されました。

この催しは寝屋川市立市民活動センターが主催で市内のボランティアグループが一同に集まり、各々の日頃の活動の紹介や成果の発表を行いお互いに情報交換を行う交流の場です。

ハート・プラスの会は2010年から個人の任意参加で初参加をし、2012年からは会の公式事業にさせていただきました。当会からの参加者は大阪府交野市、和泉市、京都市から応援をいただき総勢4名で対応しました。

2010年はパネル展示で内部障害者の現状を来客者に広報しました。

2011年は同じくパネル展示でパーキングパーミットの紹介を行いました。

2012年はいろいろなマークについてのクイズコーナーを開き、クイズ参加者にはポケッ



【測定風景】

トティッシュとハート・プラスにちなんでハートのスーパーボールをプレゼントしました。今年、2013年は血管年齢測定器をレンタルし来場者の血管年齢を測定しました。

血管年齢を測定することによってご自身の生活習慣を見直すきっかけになれば内臓疾患による内部障害者の増加を少しでも減らせるのではないかとこの企画を始めました。

来場測定人数は協力金300円をいただくにもかかわらず75人の参加者がありました。

測定に参加者からは自分の年齢より若い結果がでたり、思ったより高齢にでた数字を見て一喜一憂で楽しかった、また来年も測りたいとの声をいただきました。

今回の反省点は血管年齢に手間を取られてハート・プラスのことや内部障害者のことをお話しする時間が無くうまく広報が出来なかった様に思いました。来年は同じく血管年齢測定を行おうと思えますがもう少し広報に力を入れていきたいと思えます。

出席者の感想

〔大阪 石橋さん〕

「ハート・プラスの会」の出席にスタッフ参加しました。今年は、徳永さんの提案で会の事業計画にも入り「血管年齢測定機」をレンタルしての試みでしたが、当日「ふれいあいフェスタ」の参加者の皆さんや実行委員の皆さんがとても楽しみにしておられたことが良くわかる盛況ぶりでした。実年齢よりも若い方、高年齢結果だった方、普段の生活や運動の大切さを実感しました。

血圧の薬を服用している事で血管年齢が良い状態に維持できている方もあり、服薬の大切さを再認識しました。測定時の緊張が数値を誤表示する事もあり、何度も呼吸を整えて計測しても



【測定後の一喜一憂】

らったり、計測前に順番を待っていていらつしやる時に気持ちを落ち着けていただき、出来るだけ一回の計測で済ませることが出来るように、参加スタッフで緊張をほぐしたりしてコミュニケーションを大切にしました。

本日にたくさんの方が来てくださり一喜一憂され、朝10時から始めてあつという間に3時の閉会になってしまいました。終了後ファミレスで反省会をしました。来年もして欲しいと言って下さった方が多く居た事で、来年もやろうと話しましたが、一番残念だったのは計測に忙しく「ハート・プラスの会」のアピールがあまり出来なかったことでした。

寢屋川市での市民活動に徳永さんがすっかり取り組んでおられる事、「ふれいあいフェスタ副実行委員長」としてご尽力されている事が、今回の盛況に繋がっていると実感した一日でした。

省庁への要望書提出

を行いました

平成25年11月12日

〔代表理事 白井〕

11月12日、内閣府、国土交通省、厚生労働省を訪問し「内部障害者施策の充実とマークの行政主導による普及の要望書」を提出して、内部障害への取り組みについて該当する各庁に下記のことを重点的に要望しました。

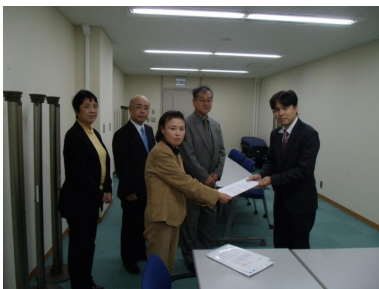
- ① 内部障害者の存在を広く周知し、福祉の向上を求めため、ハート・プラスマークを公共交通の優先席に表示。
- ② 内部障害者用駐車スペースの確保。
- ③ バリアフリー法に普通幅の障害者用駐車設置を追加。
- ④ 内部障害者も使用できるこ



⑤ 希望者が持つハート・プラスマークを行政機関で当事者に配布する。

国土交通省においては、自治体向けに発行している障害者等用駐車場の冊子の中のパーキング・パーミットの表示例にハート・プラスマークを入れていただきたことを伝えました。そして高速道路のサービスエリアの障害者駐車場へ導入する試みはどうかとのご提案もあり、可能であれば是非お願いしたいと申し入れました。

参加者、白井代表理事、加藤事務局長、徳永理事、他1名。



【国土交通省の担当者に要望書を手渡している風景】